

2020年度  
安全報告書



2021年 8月 1日

エクセル航空株式会社

本報告書は、航空法第111条の6及び同法施行規則第221条の5及び第221条の6に基づいて作成したものです。

## 「2020 年度安全報告書」発行にあたり

はじめに

平素よりエクセル航空をご利用頂き誠にありがとうございます。 厚く御礼申し上げます。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、国内外とわず多大な影響を受ける年となり、航空業界も今までにない厳しい状況に追い込まれました。

ヘリコプター業界全体で旅客輸送を主事業に行っている会社は多くありませんが、エクセル航空は旅客輸送事業（クルージング、沖縄離島便）を主事業の一つとして行っており、今までに例を見ない大きな旅客輸送事業の減少を経験致しました。

しかしながら、沖縄離島地域住民の利便性、地域活性化のため、那覇～粟国島間の路線化、旅客輸送（クルージング）に代わる新規事業（レーザー航空測量）展開を、安全管理規程に基づき変更管理（リスクの抽出、軽減、安全確保のための行動、教育等）を実施し安全を確保する取り組みを行い、実行することが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の終息は未だ見通しが立たない中で有りますが、実施事業全てにおいて確固たる安全基盤、経営基盤を築き上げるために、経営者含め社員一丸となり、安全運航確保に努めてまいります。  
今後とも引き続きご指導ご鞭撻を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

2021 年 8 月 1 日  
エクセル航空株式会社  
代表取締役社長 岸田 啓二

# 安全報告書（2020年度）

千葉県浦安市千鳥14番地  
エクセル航空株式会社

## 1. 輸送の安全を確保するための事業運営の基本的な方針

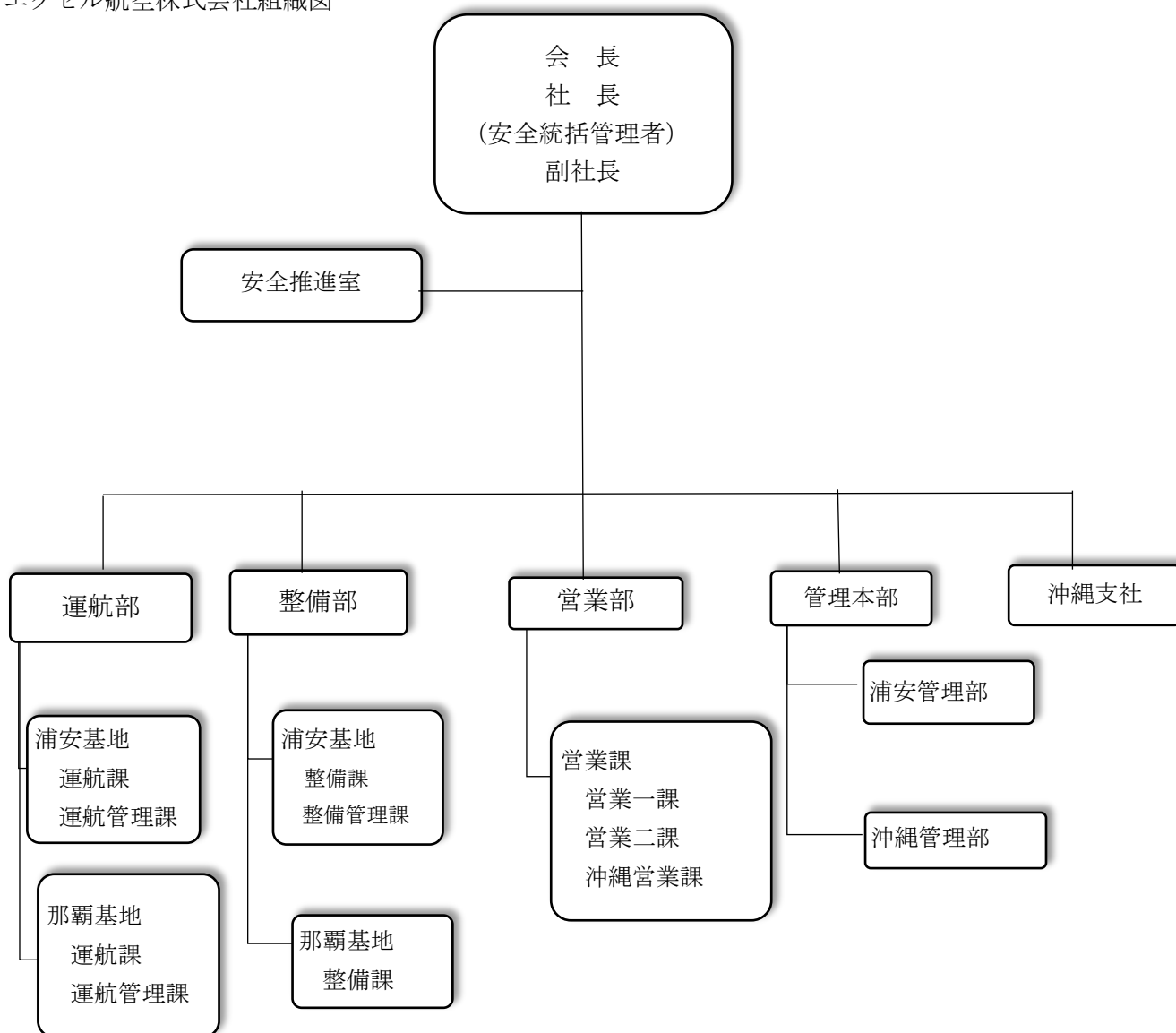
- (1) 安全管理規程「安全方針」として以下の通り定め、思考し行動をしています。
  - ：安全は会社の経営基盤であり、最優先課題である。
  - ：安全は経営者始め社員一人一人に至るまで全員の責任である。
  - ：安全の確保は相互の信頼と一人一人の自覚ある行動・努力が必要不可欠であり、臆病であることも必要である。
  
- (2) 基本理念（コミットメント）

安全は会社経営の原点であり、全社員の使命でもあります。  
常に高い水準の安全を保持することは、社会的責務であると同時に企業存続の必須条件でもあります。  
私達は全ての安全に関する情報を共有し、更なる安全運航に向けての相互信頼やコミュニケーションがとられる社風の醸成を心がけると同時に、全社員が心おきなく安全に関する率直な報告や改善提案が出来、企業が快く受け入れられる職場環境を構築してゆき、安全運航を継続することに最大の努力をしていきます。
  
- (3) 法令を遵守し、社会のモラルを守ります  
私達は、企業も社会の一員であることを強く認識し、法令を遵守すると共に社会のモラルに従いながら企業活動を行って参ります。
  
- (4) 危機管理体制の強化を図ります  
私達は、安全確保のために危機管理意識の向上、危機管理体制徹底をするため、安全管理規程に定めた「教育・訓練」、「リスクマネジメント」、保安計画に定めた「職員の訓練」の確実な実施、緊急事態対処要領に関連した訓練、及び内部監査を実施し、危機管理体制の強化を図る事に努めます。

## 2. 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

- (1) 安全確保に関する組織
  - ① 全体組織及び安全確保に関する情報（次頁記載）

エクセル航空株式会社組織図



② 各組織の機能、役割の概要及び各組織における人員数  
会社組織図による（2020年4月1日付）

：社 長 ・ ・ ・ ・ ・ 会社全般の安全に関する事項を含む業務を統括する。  
(安全統括管理者) また、安全に関する会社の基本方針を明示し、認定事業場  
についても安全管理について管理監督を行う。

：安全推進室 ・ ・ ・ ・ ・ 5名（運航部4名、整備部1名）  
安全統括管理者を補佐し、会社の安全管理体制の維持、改  
善等安全推進会議の事務局として、安全情報の提供、教育、  
啓蒙活動を行う。安全監査業務を計画・実施、状況・結果

を評価、監督し、部門長等の安全に関する意見を尊重して、安全統括管理者へ安全に関する重要事項、是正措置等の報告を行う。

- :安全推進会議・・・安全管理規程に基づく該当者（SMSによる、原則年4回開催）会社の安全管理体制に関する問題点、及び必要な改善策等を討議し、安全管理体制の継続的な改善を図る。
  
- : 運航部　　・・・・・・ 15名（安全推進室長1名兼務・安全推進室3名兼務）  
運航業務全般及び航空機の安全運航に関する業務を統括する。  
浦安基地・那覇基地毎に運航管理課、運航課をおく。
  - 運航管理課・・・6名（浦安基地4名・那覇基地2名）  
運航業務の実施にあたり安全の確保に主眼をおき、適正で円滑な運航が実施出来るようにするための業務を行う。
  - 運航課　　・・・・・・ 9名（浦安基地6名・那覇基地3名）  
運航業務のうち主に飛行の実施に係る業務及び各種教育訓練・審査等の計画と実施、それらの記録と保管に関する業務等を行う。
  
- : 整備部　　・・・・・・ 18名（安全推進室1名兼務）  
航空機の整備・検査・管理に関する業務の統括業務を行う。  
浦安基地に管理課、整備課　那覇基地に整備課をおく。
  - 管理課　　・・・・・・ 6名  
浦安基地・那覇基地の航空機やその装備品の状況把握、時間管理、整備の計画、作業管理及び記録等の管理及び航空機や装備品、計測機器、施設、設備などの品質管理、各種規程・規則などの管理・整備・設定及び技術情報の一元管理を行う。
  - 整備課　　・・・・・・ 12名（浦安基地6名・那覇基地6名）  
航空機に関する定例、非定例、特別及びその他の整備やそれらに関する記録の作成を行う。
  
- : 営業部　　・・・・・・ 17名（管理本部長1名兼務）  
航空運送事業・航空機使用事業・年度事業計画・施設事業・新規事業の開拓・企画・クルージング業務に関する調整業務・支援業務・営業1課、営業2課、沖縄営業課をおく。
  - 営業一課　　・・・・・・ 6名  
浦安基地における航空運送事業・航空機使用事業の販売、契約、管理・受託業務・施設事業の販売、契約等に関する業務を行う。

営業二課・・・ 7名  
浦安基地におけるクルージング業務に関する販売・契約・  
予約受付管理・ハンドリング業務を行う。

沖縄営業課・・・ 3名  
沖縄地区における航空運送事業・航空機使用事業の販売、  
契約、管理・受託業務・施設事業・ハンドリング業務の  
販売、契約等に関する業務を行う。

：管理部本部・・・ 5名（営業部長1名兼務）  
社内関係規則等作成管理・人事労務管理業務等・事業計  
画・に伴う資金計画作成等の実施。

浦安管理部・・・ 2名  
総務、庶務、経理に関する総括・業務・ホームページ作  
成管理業務を行う。

沖縄管理部・・・ 3名  
総務、庶務、経理に関する総括・業務を行う。

- ③ 航空機乗組員、整備従事者の数
- イ) 航空機乗組員・・・ 9名
  - ロ) 整備従事者・・・ 16名
- ④ 運航管理担当者数及び整備有資格者数
- イ) 運航管理従事者・・・ 6名
  - ロ) 有資格整備士・・・ 15名

## (2) 運航の支援体制

- ① 航空機乗組員、整備従事者、運航管理担当者の定期訓練及び審査内容については「運航規程審査要領（空航第58号）」「整備規程審査要領：空機第73号」及び「航空運送事業及び航空機使用事業の許可及び事業計画変更の許可審査要領（安全関係）：空機第68号および空航第69号」により定められています。  
これらの規程につきましては、航空局ホームページをご覧ください。
- ② 安全に関する問題点の把握と共有、フィードバック体制、社内啓蒙活動の取り組み  
下記項目について、継続的に実施しています。
- イ) 「安全管理規程」に基づき、安全についての会社方針を規定し、運航の安全に関わる業務、認定事業場における認定業務を実施する。
  - ロ) 全社的な安全目標に対する各部署の取り組み目標を設定し、現業部門ばかりでなく間接部門も積極的な取り組みを展開する。
  - ハ) 3ヶ月に一度を原則とし、その他必要の都度「安全推進会議」を開催し、会社の安全管理体制に関する問題点、及び必要な改善策等を討議し、安全

管理体制の継続的な改善を図る（PDCA 及びリスク管理の実施）と共に、同じく3ヶ月に一度以上各部会において、安全の教育等を実施し、水平展開を図る。

- ニ) 各飛行作業、整備作業等毎回作業実施前に関係者の※TBM・KYを行うと共に、緊急事態対処時の対応を決定し、再確認させることにより安全に関する認識を高めている。

※TBM・KY（ツールボックスミーティング・危険予知）活動

- ホ) 日本航空技術協会主催の※ヒューマンファクター・セミナー(リカレント)等に積極的に参加し、参加者を講師として社内講習会を実施。

※ヒューマンファクター・セミナー：業務中に人と人の関わりで発生するエラーを予防したり再発防止したりするための講習会。

- へ) 日本航空機操縦士協会主催の小型機セーフティ・セミナー及び※安全運航セミナーへの積極的な参加。

※安全運航セミナー・・・小型航空機及びヘリコプター会社を対象として、国土通省航空局技術部運航課、管制保安部運用課が主催する安全のための勉強会。

- ト) 全航連ヘリコプター部会、運航委員会への出席。
- チ) 防災総合訓練、緊急事態対処訓練等について1年2回以上実施。
- リ) 航空局主催航空保安教育訓練・安全推進連絡会議への参加。
- ヌ) 浦安基地、那覇基地全社員持ち回りによる安全パトロール（各月1回）の実施。

### (3) 保有航空機に関する情報

#### ① 保有航空機の種類（2020年4月1日現在）

シコルスキー式 S-76A+型  
 ユーロコプター式 AS355N型  
 アエロスパシアル式 AS355F2型  
 ユーロコプター式 AS350B2型  
 エアバス・ヘリコプターズ式 EC130T2型

#### ② 機種別数、座席数、年間飛行時間

機 種	保有機数	座席数(機長席を除く)	年間飛行時間
シコルスキー式 S-76A+型	1	10	※ 0時間
ユーロコプター式 AS355N型	2	6	404:35時間
アエロスパシアル式 AS355F2型	1	6	61:06時間
ユーロコプター式 AS350B2型	1	6	176:26時間
エアバス・ヘリコプターズ式 EC130T2型	1	7	37:39時間

※売却予定のため航空の用に供さず

③ 全体の平均機齢、機種別導入時期及び平均機齢  
 全体の平均機齢・・・19.7年

機 種	導入年月	機 齢
S76A+型 JA6691	2002年11月	30年
AS355N型 JA918D	2019年 8月	18年
AS355N型 JA355E	2002年 2月	19年
AS355F2型 JA6629	2010年 7月	30年
AS350B2型 JA358Y	2007年 2月	20年
EC130T2型 JA130A	2019年10月	1年

3. 法第111条の4に基づく報告に関する事項

法第111条の4に規定する「航空機の正常な運航に安全上の支障を及ぼす事態(事故、重大インシデント及びその他の安全上のトラブル)」の発生状況

- (1) 航空事故  
無し
- (2) 重大インシデント  
無し
- (3) その他安全上のトラブル  
無し

4. 安全を確保するために講じた措置及び講じようとした措置に関する事項

- (1) 事業年度安全推進活動計画の実施・実行
  - ：安全管理体制の構築・維持・改善に必要な教育・訓練等の実施
  - ：各規程類等による内部監査の実施
- (2) 安全輸送に関する目標達成度、安全に関する取り組みの実施状況等、当該事業年度における自社の輸送安全の状況に関する総括評価

2020年度 安全指標及び安全目標値

	安全指標	安全目標値
1	職員一人一人の安全に対する意識を向上させるため、以下のアイテムを利用して安全教育を実施する。 1. 安全情報（監督官庁、関係団体等） 2. ヒヤリハット情報 3. 安全パトロール情報	各部会において年4回以上（全社安全教育を含み合計15回以上）実施する。
2	公的機関等で開催される安全・保安・危険物輸送等に関するセミナー、訓練、講習等へ参加する。	年4回以上参加する。
3	変更管理・要因分析の実施（訓練含む）	年2回の実施
4	航空事故及び重大インシデント発生件数	0件



1. 15件以上の安全教育の実施件数を達成するために安全推進活動計画以上の教育を実施すべく機会をとらえて各部会及び全社ミーティングにおいて安全教育を実施し、計画15件に対して実績19件と安全目標値を達成することができた。ただし、コロナ禍の影響等により飛行業務が激減して安全教育の機会を増やすことができる環境ではあったが教育内容は充実しているとは言えず、実施件数を増やすことよりも教育内容を充実させる時間的な余裕を確保することが重要と考え、次年度は前年度の年間13件に戻して安全教育を実施することとした。教育内容が充実しなかったのは、飛行業務が減っても普段なかなか手が付けられなかった業務に時間を割かれ期待したほど安全教育の資料作成や教育内容の検討に時間が掛けられなかったことが原因と思われる。安全情報の一つであるヒヤリハット情報は、安全意識の向上により上半期に2件、下半期に4件報告され、安全推進会議でリスク評価を実施後、安全リスク低減策を検討して対応することができた。浦安基地と那覇基地間の情報共有を図るため、WEB会議を活用することで安全教育で利用した安全情報を社内に周知することができた。また今年度の安全パトロールの点検表の点検項目を新方式の内容で実施し、その報告書を社内ネット上の共有フォルダーに掲載して、ヒヤリハット情報とともに業務の参考とさせることができた。
2. コロナ禍の影響を受け、国土交通省航空局、東京航空局、全航連、日本航空技術協会等が主催するセミナー等の多くが中止となったが、WEB形式を含めた訓練や講習等に積極的に参加することで、安全目標値を達成することができた。セミナー等で得られた情報は、各部会、資料の回覧等で開示することで全社員に周知することができた。また、浦安基地又は那覇基地で其々得られた情報は、速やかに社内ネット上の共有フォルダーに保管していつでも閲覧できる状態を維持することができた。訓練や講習への参加は浦安及び那覇其々の部署から積極的に出席してもらえたこともあって会社全体としての参加件数が増え、全社的な安全意識の向上につながった。次年度からは、浦安基地と那覇基地で参加件数に偏りが出ないように、安全目標値を各基地毎の件数に変更して安全目標値の管理を行うこととする。
3. コロナ禍の影響を受け、メーカー、航空局、自治体等において計画通りに業務が遂行できない事態となったが、地域貢献や地域の要望、あるいは受託企業との契約履行のため、浦安基地及び那覇基地の情報交換を頻繁に行って新規事業で予想されるリスクを洗い出し、その排除、軽減を図るべく其々計画した変更管理を粛々と実施した。安全目標値2件に対し、3件の新規案件について実作業として変更管理を3回実施することができ、安全管理規程のリスク管理についての知識と幅広い経験を積むことができた。次年度においては新規事業が計画されていないため、安全指標から外すこととする。
4. 全社一丸となって航空安全の維持に努めた結果、航空事故及び重大インシデントを発生させることなく安全目標値を達成できた。

(3) 2021年度について

**\*2021年度安全指標及び安全目標値（SSP）**

	安全指標	安全目標値
1	社員一人一人の安全意識の維持向上を図るため、以下の安全情報と安全に関する文献も利用して安全教育を実施する。 1. 航空機及び発動機等の製造者からの情報 2. 監督官庁、関係団体等から発行される情報 3. ヒヤリハット情報 4. 安全パトロール情報 5. 災害に関する情報	各部会において年4回以上、全社ミーティングで年1件以上実施する。
2	公的機関等で開催される安全・保安・危険物輸送等に関するセミナー、訓練、講習等へ参加する。	浦安基地及び那覇基地共に年3件以上参加する。
3	航空事故及び重大インシデント発生件数	0件

- 前年度、安全教育の実施件数を増やしたものの教育内容について準備不足が認められ、教育内容を熟考して今以上に効果のある教育を行うために担当者が準備に十分な時間を確保できるように実施件数を改善する必要があると考え、2021年度の安全目標値は令和元年度では問題とならなかった件数に戻すこととする。安全管理規程に定められているところでもある、安全教育は各部会で四半期に1回以上開催するものと全社員を対象に年1回以上開催するという安全目標値は適正と判断される。安全教育の実施は、社員の安全意識を維持向上させる効果が大きいものと認識しており、内容の優れた安全教育を実施することは社員一人一人の安全意識の維持向上に貢献し、会社の安全文化の醸成に繋がるようにしていきたい。安全教育に利用する安全情報は、安全管理規程に定められているもの以外に FEEDBACK から得られる航空業界全体のヒヤリハット情報等も教育内容の充実を図る情報源として収集し活用する。社全員が持ち回りで実施する安全パトロールから得られる情報は、日常業務中に潜んでいる対策の必要な不安全情報も含まれているが、点検項目に内部監査の監査対象項目を入れることで、社内の安全管理体制や普段の作業等の業務が定められた手順で行われているかを内部監査を待たずに点検することができるので、引き続き点検項目に入れることとし、併せて安全情報としても活用できるものとしていきたい。
- 今年度は、コロナ禍の影響がどの程度セミナー等の開催に影響を与えるか見えない状況下ではあるが、引き続き社員の安全意識を高め安全の理解を深めることを目的として、安全推進の立場にある社員については大臣官房運輸安全監理官室主催の運輸安全マネジメントセミナー（ガイドライン、内部監査、リスク管理）を受講させ、他の社員については国土交通省航空局、東京航空局及び民間会社等の主催する安全、保安、危険物輸送等に係る訓練・講習会等に積極的に参加させる。また、整備士を対象として機体、エンジン等の講習を受講させる。受講者が得た安全情報は、安全教育又は各部会で開示し、社内ネットや回覧等で全社員に周知する。今年度は、浦安及び那覇其々の基地で年3件以上セミナー等に参加することを安全目標値とし、全社で6件以上参加できるようにしていきたい。
- 上記2項目の安全指標とともに、浦安基地と那覇基地の安全に関する意識の向上に努め、安全の確保は航空運送事業会社の最優先課題であることを社員一人一人に認識させて安全文化の醸成を図り、引き続き航空事故及び重大インシデントの発生を無くすよう努力していきたい。

以上